

【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 理学療法学コース/理学療学科】

科目名		ナンバリング		区分（必修・選択）	単位数	履修年次	開講学期等
日常生活活動学				必修	2	2	後期
担当教員		研究室		電子メール ID		オフィスアワー	
関根 聡美		D313		s.arakawa		火曜日 10：40～12：10	
授業の目的・概要		日常生活活動学では、基本動作、ADL 能力を維持・改善するために、基本動作、ADL 能力に関連した理学療法評価、治療の実施方法を習得し、基本動作や ADL 能力の問題点を抽出かつ改善できることを目的とする。まず基本動作や ADL の評価、問題点の抽出、治療方法を講義で解説する。その後 ADL を支援する機器、生活環境の改善、法的諸制度の利用方法について説明する					
授業形式・方法		☐ 対面授業 ☒ 遠隔授業(双方向型) ☐ 遠隔授業(自主学習)		☒ 講義 ☐ 演習 ☐ 実習 ☐ 実技	☒ PBL ☐ 反転授業 ☐ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ その他（	☐ ディスカッション・ディベート ☐ 実習・フィールドワーク	
学 習 上 の 助 言		授業内容の質問は、授業中及びオフィスアワーの時間に設ける。積極的に質問し理解を深めて欲しい。					
教 科 書		標準理学療法学 日常生活活動学・生活環境学 第5版/著:奈良勲/編:鶴見隆正、隆島研吾/医学書院/2017					
参 考 書		特になし					
外 部 教 材		特になし					
学生が達成すべき行動目標						関連卒業認定・学位授与方針	
①	基本動作、ADL 動作に関連した理学療法評価を説明できる。					PT (2)、(3)、(5)、(6)	
②	基本動作、ADL 動作の問題点を抽出し、治療計画を立案することができる。					PT (2)、(3)、(5)、(6)	
③							
④							
⑤							
⑥							
授 業 計 画							
回	学習内容等			授業の方法	学習課題・学習時間（時間）		
1	日常生活活動の概要を学習する。			講義	ADL の概要を教科書、配布資料で確認する。	4	
2	日常生活活動の定義と分類を学習する。			講義	ADL の定義・分類を教科書、配布資料で確認する。	4	
3	日常生活活動と生活の質（QOL）の定義・分類を学習する。			講義	ADL や QOL の定義・分類を教科書、配布資料で確認する。	4	
4	「ADL 能力に対する評価①」 国際障害分類（ICIDH）と国際生活機能分類（ICF）の概要・詳細を学習する。			講義	ICIDH と ICF について教科書、配布資料で確認する。	4	
5	「ADL 能力に対する評価②」 国際生活機能分類（ICF）の概要・詳細を学習する。			講義	ICF について教科書、配布資料で確認する。	4	
6	「ADL 能力に対する評価③」 基本動作、ADL 動作の概要を学習する。			講義	基本動作、ADL 動作を教科書、配布資料で確認する。	4	
7	「ADL 能力に対する評価④」 Barthel Index(BI)の概要を学習する。			講義	BI の概要・詳細を教科書、配布資料で確認する。	4	
8	「ADL 能力に対する評価⑤」 Function Independence Measure(FIM)の概要を学習する。			講義	FIM の概要を教科書、配布資料で確認する。	4	
9	「ADL 能力に対する評価⑥」 BI と FIM の詳細を学習する			講義	BI・FIM の詳細を教科書、配布資料で確認する。	4	
10	「ADL 能力に対するアプローチ①」 自立支援機器の適応方法を学習する。			講義	自立支援機器について教科書、配布資料で確認する。	4	
11	「ADL 能力に対するアプローチ②」 ADL を支援する歩行補助具・車椅子の適応方法を学習する。			講義	歩行補助具・車椅子について教科書、配布資料で確認する。	4	
12	「ADL 能力に対するアプローチ③」 生活環境の評価・改善計画について学習する。			講義	生活環境を教科書、配布資料で確認する。	4	
13	法的諸制度の適応方法を学習する。			講義	法的諸制度の適応方法を教科書、配布資料で確認する。	4	
14	在宅復帰位に向けた ADL 指導方法を学習する。			講義	症例の一連の評価、治療の選定ができるように復習する。	4	
15	ADL の概念と評価及び介入の方向性などについて理解を深める。			講義	症例の一連の評価、治療の選定ができるように復習する。	4	
試	定期試験（達成度評価、評価ポイントを参照）						

【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 理学療法学コース/理学療法学科】

達成度評価							
総合評価割合（％）		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		80	0	0	0	20	100
総合力指標	知識・技術力	50	0	0	0	0	60
	思考・推論・創造する力	15	0	0	0	10	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	15	0	0	0	10	20
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	学期末に定期試験を実施して評価をする。教科書ならびに配布資料などから出題し、理解度を問う（筆記試験、80%）。出題形式などは授業時に提示する。			必要に応じて試験の解答を提示し、解説をする。	
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①		授業中に出される課題で授業の理解度を問う。（20%）				
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員		なし					
教員の実務経験		医療機関、介護施設にて実務経験あり					
実践的授業の内容		理学療法業務を行う問題点を臨床経験に基づく視点から解説し、具体的な対応策を考察し検討する。学生の理解度に応じて授業計画を変更することがある。					
そ の 他		Teams を使った同時双方向型授業を行う。授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を推奨する。遠隔授業では、課題のダウンロードや動画視聴などがあるため、通信量に十分に注意すること。今後の感染症の状況など、社会情勢に応じて再度シラバスの変更が生じる可能性がある。					